

第58回インナー大会プレゼンテーション部門・予選会 【審査シート】

■Gブロック 跡見学園女子大学 山澤ゼミ

■チーム名：山澤ゼミC

審査項目	審査内容	評価
■着眼点	<ul style="list-style-type: none">・研究テーマに対する現状分析が適切である。・提案や研究内容が明快でわかりやすい。・発表者ならではの視点に基づいたオリジナリティがある。	14/20
■論理的思考力	<ul style="list-style-type: none">・仮説を立て検証を繰り返しながら、結論が導き出されている。・論点への考察の深さ、多角的な視点。・提案や研究内容の話の展開に矛盾がない。	13/20
■情報活用力	<ul style="list-style-type: none">・参考文献やフィールドワークによる情報収集への取り組み。・収集した情報の正確さ、分析、実証。・具体例やデータを使用するなど論点が分かりやすく整理されている。	12/20
■プレゼン力	<ul style="list-style-type: none">・プレゼン資料（デザイン性、表現力など）の構成。・受け手に伝わる話し方、立ち居振る舞い、時間配分。・説得力がある。	13/20
■質問対応力	<ul style="list-style-type: none">・質問に正対した回答ができています。・簡潔に答えることができています。・説得力がある。	13/20
総合評価点 期間外提出のため、5点減点となっております。		60/100

◆審査員からの評価コメント◆

② コメントシート

インナー大会プレゼン部門 予選会 審査シート

【Gブロック 松岡 誠造様】

NO.6山澤ゼミC

※点数は別紙にご記入ください。

※審査員の皆様のコメントは全チームへフィードバックいたします。できるだけ詳細に記載していただけますと幸いです。

<p>良かった点</p>	<p>不妊治療という難しいテーマに着眼点を当て、発表することは障壁の高いことであるため、テーマ設定自体が非常にユニークであり、評価できる。 難しいテーマに対して、身近に感じられるような工夫（ポップなスライド・イラスト、構成）が施されていた。 学内講義をした後の参加者の実際の声に乗せることで、講義の実施状況とその意義が分かるようになっていた。</p>
<p>改善点</p>	<p>根拠となるデータを口頭で補うが多かったため、スライドに起こすと良い。データはメッセージの信ぴょう性を高めるための重要な材料であるため、視覚化されているべきである。 「因果関係（原因とその結果）」と「相関（ただ単に関係があること）」を区別して発表されると良かった。 目次（アジェンダ）を設け、論理構成をより吟味されると良かった。</p>
<p>今後期待すること</p>	<p>プレゼン全体を通して伝えたいメッセージや自分たちのスタンスを明確にし、論理構成を考え、その根拠となる情報を集める、という流れを「繰り返し」行うことで、より説得力、メッセージ性のあるプレゼン内容になると思います。 「不妊治療」というテーマは、中々公（おおやけ）に議論されにくいテーマだからこそ、みなさんが調査・研究し、少しでも多くの人に広めていく価値があるものだと考えています。 是非これからも、公演や講義を通じた活躍を期待しています！</p>

② コメントシート

インナー大会プレゼン部門 予選会 審査シート

【Gブロック 各務 洋子先生】

NO.6山澤ゼミC

※点数は別紙にご記入ください。

※審査員の皆様のコメントは全チームへフィードバックいたします。できるだけ詳細に記載していただけますと幸いです。

良かった点	<ul style="list-style-type: none">・不妊治療という学生さんにはあまり身近でないテーマを扱っていただいたことで、今回、プレゼンを聴いた学生さんたちは、将来、突然降りかかる大きな問題に、事前に準備するマインドを持つことができたと思います。不妊治療というのは、ある年齢になるまでなかなか気付くテーマではなく、気付いた時には遅かったという課題でもあるので、大変意義深い内容でした。・不妊治療についての講演を実施するなど、あまり身近でない学生さんたちのマインドを喚起する取組を実践されたところは大変素晴らしいことでした。今、気づいて良かったと思ってもらえる取組を高く評価いたします。
改善点	<ul style="list-style-type: none">・不妊治療というのは、不妊事態が問題というよりも、不妊治療をしなければならなくなってしまう女性の働き方、生き方の問題でもあります。従って、「本当の問題は何か」を考えてみてください。不妊治療をする女性が増えて来た要因は何でしょうか？なぜ昔は不妊治療が今ほど多くなかったのでしょうか？・不妊が引き起こす社会的問題を考えると、不妊治療を回避するソリューションとして、早く結婚することや、早く子供を作るといった人生の歩み方を左右する方法だけでなく、社会の構造として、不妊治療が必要になってしまうような働き方や、生活習慣などの再考も考えてみると良いと思います。
今後期待すること	<ul style="list-style-type: none">・学生に馴染みのないテーマを取り上げた意味は大変大きいです。実際に大学でセミナーを開いた経験は、今後、特に女子学生の必須の知識として重要です。不妊治療が増加するような社会的な構造を緩和することを期待しますが、一方で、一定数は不妊に直面する女性、男性がいる訳ですから、是非、みなさんが開講したセミナーなど、他大学や、同じ年代の若者に広めてほしいと思います。・同時に、改善点で指摘しましたが、不妊治療が増加しない社会を創っていくのもみなさんには重要なテーマだと思います。働き方、生活習慣など、上手くいかないことの原因を丁寧に探索し、生活しやすい社会を創っていくこと、様々な視点で解決策を考えてみることは、継続して考えて行っていただければ、みなさんの時代には、不妊治療の必要な女性が増加しない社会が実現できるのではないのでしょうか。楽

◆所属ブロック参加チームからのコメント◆

・女性ならではの視点でテーマ設定がなされていた。

・近年、社会的問題になっているトピックに注目していかつ発信しづらい問題に挑戦した点がすごいと思います。

・私は性別が男ですが、今回の発表を聞き女性が抱える問題を知り、当事者意識を持ちました。これは私だけではなくこの会場にいたすべての男性にとっても同じだと思うので、

今回のこのインナー大会という場でプレゼンしたこと自体が一番の解決であり、認知の数も増えていくのかなと思いました。発表自体も原稿を暗記していて、熱意が伝わりました。

- ・女子大だからこそそのテーマだと思いました。1つのスライドでも話すことが多いのでうまく入ってこなかった。6人に1人が不妊だとは知らなかったので今回とても勉強になった。

- ・日本の大きな問題の一つである少子化に関わるとても重要なテーマだと思いました。